

## 第6学年道徳学習指導案

日時 平成21年11月20日 3校時  
対象 6年生(男14名 女7名 計21名)  
指導者 佐々木善成

- 1 主題名 家族を愛し大切にすること(4-(5) 家族愛)
- 2 資料名 はじめてのアンカー(学研 みんなのどうとく6年)

### 3 主題設定の理由

#### (1) 価値について

学習指導要領第2章道徳の目標及び内容の第5学年及び第6学年の内容1「主として集団や社会とのかかわりに関すること」の(5)に「父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをする。」とある。中学年の「父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくる。」を受け、中学校の「父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築く。」へ発展していくものである。

「家族を敬愛する」とは、家族のことを尊敬し大切にしようとすることであり、家族によって今の自分があり、充実した生活を送ることができると自覚したときにわき起こるものと考え。家族への尊敬の念は、人格や行為が自分より優れていたり、至らない自分を支えてくれる存在であると感じたりしたときに抱くものと考え。「家族の幸せ」とは、心身ともに健康であること、家族相互に信頼し喜び合心心が満たされている状態であることと考える。

家族とは、苦楽を共に分かち合い温かな人間関係の中で心が安まる場所である。また、他者への思いやりや自分の役割の自覚など、社会性を身に付けていくために基盤となるものである。したがって、家族との関係が豊かであるほど人生も豊かになると言っても過言ではない。

この期の児童は、家族の心遣いや願いに気付かずに過ごしてしまったり、つい反抗的な態度を取ったりしてしまうことがある。そこで、今の自分の生活があるのは家族のおかげであることを再確認し、家族を敬愛することの大切さを理解させるとともに、自分を支えてくれる家族のために何かできそうなことはないか考え行動しようとする心情を高めていきたい。

#### (2) 児童について

省略

#### (3) 資料について

本資料は、運動会のリレーではじめてアンカーに選ばれ父親に見てもらえると思っていた「まき」が、急遽父親が漁に出ることを知り悲しい気持ちになるが、父親の気持ちを理解し父親の身を案じる気持ちに変わっていくという話である。

子どもたちは、親と約束していたことが実現できなかった時の気持ちを共感的に理解できるものと考え。自分の気持ちだけを優先し暗い気持ちになっている「まき」の考え方に気付かせ、父親の気持ちや立場を知り自分の考え方を省みた「まき」の心情を深く掘り下げることにより、家族を大切に自分のできることを進んで行おうとする心情を育てるために適した資料であると考え。

#### (4) 指導の態度

「気づく」段階では、家族の存在意義を問うことにより価値への導入を図りたい。

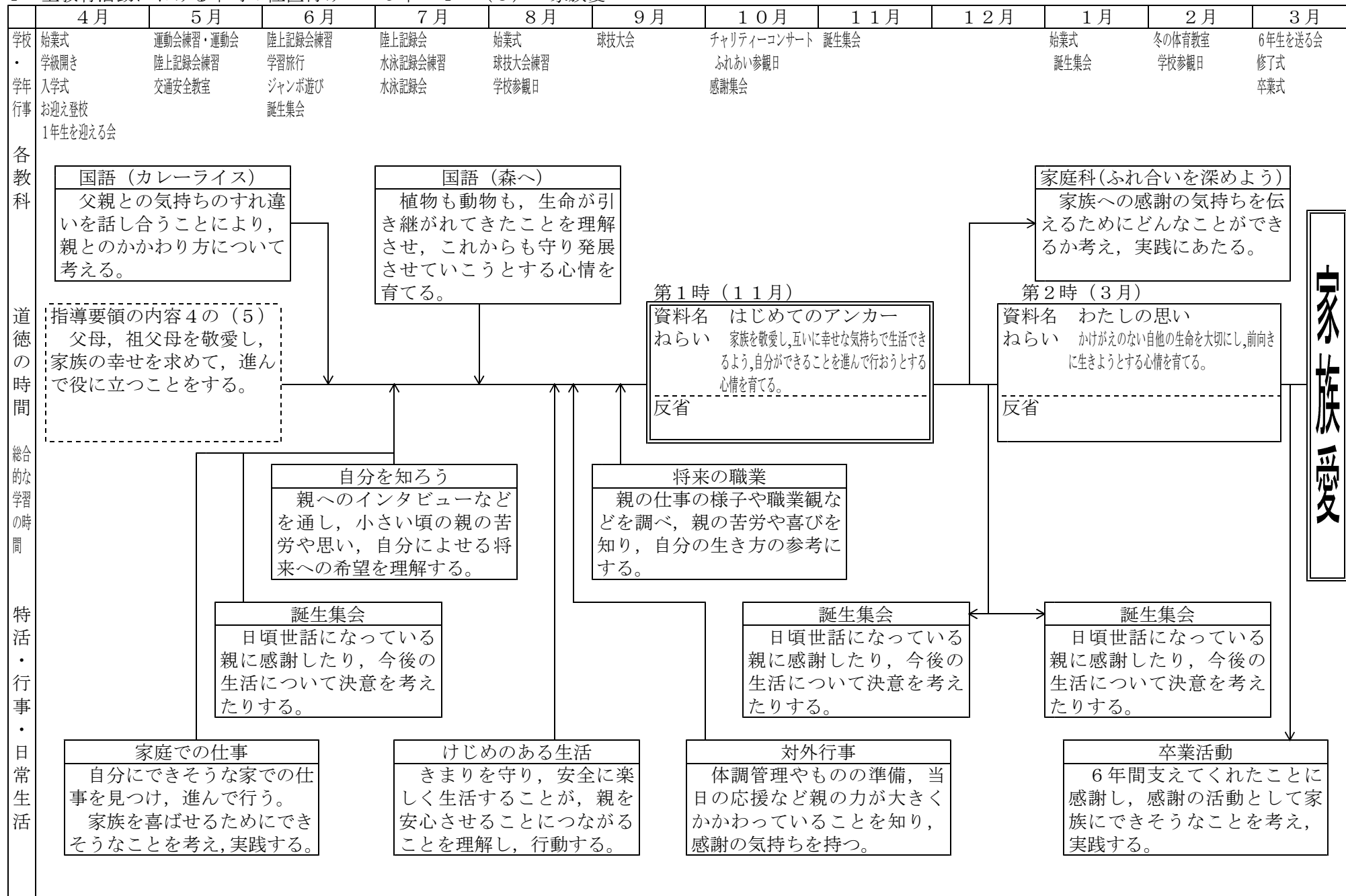
「深める」段階では、父が来ることへのうれしさに浸らせ、突然約束が果たされなくなったときの憤りを共感的に理解させていきたい。そして、祖母の話聞き自分の考え方をみつめたまきの心情を深く掘り下げることにより、自己中心的な考えが強かったことを押さえていきたい。

「つかむ」段階では、自分の親が書いた文を読み、親の気持ちを実感させるとともに、親の願いを知り自分は何をすべきか考えたまきの心情を理解させていきたい。

「広げる」段階では、家族の素晴らしさを話し合わせ、家族の見方を変えたり家族に感謝し自分にできそうなことを進んで行おうとする心情を育てたりしたい。

ついわがままになったり反抗的な態度になったりすることがあった自分を見つめ親の気持ちに触れさせることにより、よりよい考えを見出そうとするしなやかな学びを促していきたい。

4 全教育活動における本時の位置付け 6年 4 - (5) 家族愛



5 本時の指導

(1) ねらい

家族を敬愛し、互いに幸せな気持ちで生活できるよう、自分ができることを進んで行おうとする心情を育てる。

(2) 展開の概要

段階	学習活動と主な発問	期待される児童の反応	指導上の留意点 (◆仮説にかかわる手立て)
気づく 5	1 「心のノート」90ページの文を読み、家族について話し合う。 ○あなたにとって家族はどんな存在ですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく安心できる。</li> <li>・困ったときに助けてくれる。</li> <li>・しかられてばかりで口うるさい。</li> </ul>	◆「心のノート」を活用し、自分にとっての家族の存在意義を話し合うことにより、価値への導入を図る。
深める 20	2 あらすじを確認し、感想を話し合う。 ○まきについて、どんなことを感じましたか。  3 学習の方向性を話し合う。 ○どんなことを話し合えばよいでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お父さんが運動会に来れなくなったのは残念だったと思うが、気持ちを切り替えたところがすごいと思う。</li> <li>・お父さんの気持ちを知り、運動会でがんばろうという気持ちがさらに強くなったと思う。</li> <li>・港へ降りていくとき、まきはどんな気持ちだったか。</li> <li>・お母さんの話を聞いたとき、まきはどんな気持ちになったか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に「ねむのきノート」に感想を記述させ、意図的に指名していく。</li> <li>・課題設定はできるだけ子どもの言葉を生かして設定し、課題意識を高めたい。</li> </ul>
	港へ降りていくとき、まきはどんなことを考えていたか。		
つかむ 10	4 まきの気持ちを話し合う。 ①あさみにVサインを出したとき、まきはどんな気持ちだったでしょうか。  ②父の言葉を聞いたとき、まきはどんな気持ちだったでしょうか。  ③祖母の話を聞いたとき、まきはどんな気持ちだったでしょうか。  ④港へ降りていくとき、まきはどんなことを考えていたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お父さんのために張り切ってがんばろう。</li> <li>・お父さんが見に来てくれるのでうれしい。</li> <li>・お父さんの嘘つき。</li> <li>・また来てくれないのか。</li> <li>・漁を休めばいいのに。</li> <li>・アンカーなんてどうでもいい。</li> <li>・お父さんのことは何も考えていなかったなあ。</li> <li>・どうしよう。明日の天気のためなのに。</li> <li>・父が無事に帰ってくるように、人形をはやく渡すことを考えていた。</li> <li>・明日のリレーでは一生懸命走走って父を喜ばせようと考えていた。</li> <li>・自分の気持ちだけで考えていたことを反省していた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「小学校最後」「今度だけ」という思いで、父親の気持ちに込めようとしているまきの気持ちに共感させる。</li> <li>・具合が悪くなった人の代わりであることを押さえた上で、自己中心的なまきの父に対する怒りや不信感などに共感させたい。</li> <li>・祖母の話を聞き、自己中心的な考え方や行為をしている自分に気づき始めているまきの気持ちを考えさせたい。</li> <li>・父を気遣い、喜ばせるために自分にできることをしようとしているまきの考え方を押さえ、ねらいとする価値に迫っていきたい。</li> </ul>
広げる 5	5 家族の素晴らしさについて話し合う。 ○家族がいてよかったと思うことにどんなことがありますか。また、家族のためにどんなことができそうですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明るく生活しているところです。家族に心配をかけないようにしたいです。</li> <li>・困っているときに支えてくれることです。家の仕事などをして少しでも楽にさせてあげたいです。</li> </ul>	◆意図的指名により、実践意欲に結びつけたい。 ・「家族」を親に限定せずに、祖父母や兄弟にも広げて考えさせていきたい。
まとめる 5	6 教師の説話を聞く。		・家族の絆の深さにかかわる話を紹介し、家族の有り難さや信じ合うことの大切さを伝えていきたい。

# 場面絵

お父さんのことは何も考えていなかったなあ。  
どうしよう。明日の天気のためなのに。

# 場面絵

お天気人形

雨の日の漁はあぶない。  
せめてお守りがわりに。

# 場面絵

漁に出るんだって

お父さんの嘘  
つき。さばの  
漁を休めばい  
い。の。休めばい  
ア。の。休めばい  
いて。の。休めばい

# 場面絵

Vサイン

お父さん切つての  
張り切りさ。つん  
るんが。た  
お父さん切つての  
張り切りさ。つん  
るんが。た

今度だけは

小学校最後の運動会

港へ降りていくとき、まきはどんなことを考えていたか。

はじめてのアンカー

家族を大切にする

無事に帰って来てね。  
明日のリレーでは一生懸命走  
るよ。の。リレーでは一生懸命走  
るよ。の。リレーでは一生懸命走  
るよ。の。リレーでは一生懸命走

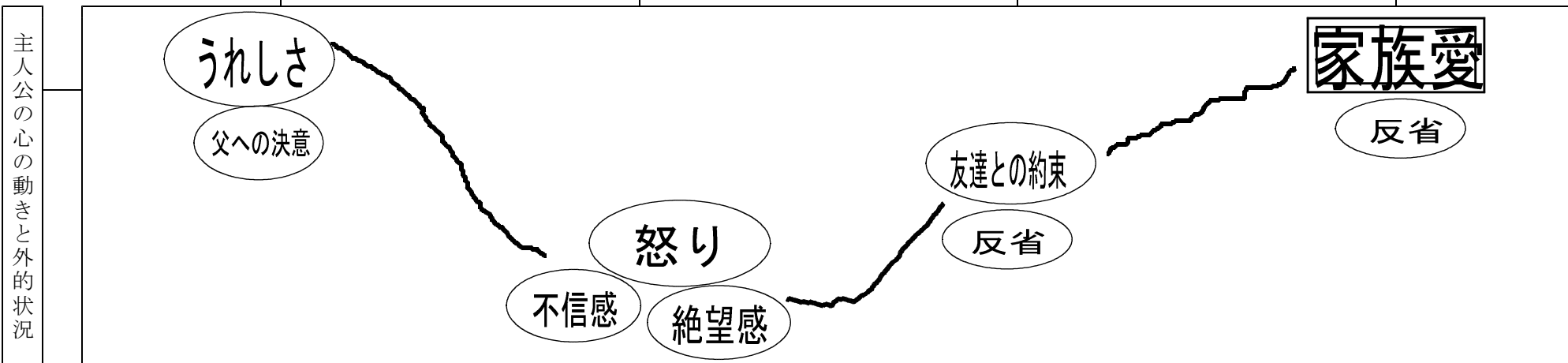
7 資料分析

資料名  
はじめてのアンカー (学研 みんなのどうとく6年)

ねらい 家族を敬愛し、互いに幸せな気持ちで生活できるよう、自分ができることを進んで行おうとする心情を育てる。

場面	まきは、あさみに、Vサインを出した。	父は漁に出るしたくをしていてるところだった。	祖母はおやつを持ってきて、まきに話しかけた。	夕日にそまった坂道を、港へ降りていった。
----	--------------------	------------------------	------------------------	----------------------

外的状況	小学校最後の運動会リレーのアンカー。今度だけは、漁をやりにくり	しゃがみこむ急に具合が悪い耳に入らないしよっぱい涙	「お守りがわり」「お父さん、喜ぶよ」ちくりと痛む	肩を落とす「一番楽しみ」お天気人形玄関を飛び出す
------	---------------------------------	---------------------------	--------------------------	--------------------------



児童の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ お父さんのために張り切ってがんばろう。</li> <li>○ お父さんが見に来てくれるのでうれしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お父さんの嘘つき。</li> <li>● また来てくれないのか</li> <li>● 漁を休めばいいのに。</li> <li>● アンカーなんてどうでもいい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ お父さんのことは何も考えていなかったなあ</li> <li>● どうしよう。明日の天気のためなのに。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 父が無事に帰ってくるように、人形をはやく渡すことを考えてい。</li> <li>○ 明日のリレーでは一生懸命走走って父を喜ばせようと考えていた。</li> <li>○ 自分の気持ちだけで考えていたことを反省していた。</li> </ul>
-------	--	---	--	--

発問	あさみに、Vサインを出した。まきは、あさみに、Vサインを出した。	父の言葉を聞いたとき、どう思ったか。	祖母の話を持ち出したとき、どう思ったか。	港へ降りていくとき、何を考えたか。
----	----------------------------------	--------------------	----------------------	-------------------